みんなで まちづくり

豊田地区まちづくり協議会　広報　第15号

（令和元年９月発行）

【事務局】

住　所：下関市豊田町大字矢田１４９番地１

（豊田生涯学習センター内）

ＴＥＬ　：０８３－７６６－０７７５（Fax 兼用）

メール　：toyota.machizukuri@clock.ocn.ne.jp

在室日：火・木曜日（９：００～１７：００）

人物紹介　坂本祐樹さん

補助金申請の会議で、
自治会、有識者の方々と

下関市の「にぎわいまちづくり促進事業」に申請され、豊田下日野の空家でオーダーメイド家具の製作・販売をするということで、下関市田中町より移転されます。長屋を加工場、母屋の一部を家具展示場として改装されるそうです。

この地を選んだ理由は、高速道路のインターチェンジから１０分程度で来ることができ、製品の見学者に便利だからだそうです。

今後のご活躍を期待します。

「自由枠」の活動決定

５月の総会で、「自由枠」を設け、応募を呼びかけていた事業に、「**下関市立大学生学習支援ボランティア事業**」が決定しました。

これは豊田中学校生徒の学力向上と、授業態度の向上を図るため、ボランティアで指導に来て下さる下関市立大学の学生さんを支援しようというものです。

この下関市立大学生学習支援ボランティアは２年前から行われていて、市大生延べ２０人が自費で食事代・交通費を出して指導に来ており、朝学から放課後（部活）まで先生の補助をしているそうで、効果も出ているとのことです。

子どもの学力を向上させることは将来のまちづくりにもつながる、ということで、少しでも市大生の金銭的負担をなくそうと今回の自由枠に応募があり、役員会で採択されました。

「**まちづくりは、ひとづくり**」ということで、役員からは「この事業は継続されないのか？」・「新しく活動に加えられないか？」・「来年も自由枠はあるのか？」などの意見・質問も出ました。

Facebook 研修会

８月２６日（月）下関市勤労福祉会館で Face book の研修会があり、豊田地区まちづくり協議会から事務局長が参加しました。
研修会の様子を報告します。

『大人のためのフェイスブックセミナー』に参加して

令和元年８月２６日（月）１５時～１７時下関勤労福祉会館で、まちづくり研修会として、Facebook Japan による研修があり受けてきました。

目的は、まち協の活動を外に発信するための方法、ポイント。初心者レベルの便利機能、役立ち機能の紹介等ですが、講師は Facebook 講座パートナーの松延健児さん。

山口県出身の日野原先生（聖路加国際病院名誉会長）が１００歳から Facebook を始められたとき、６年間担当されたそうで、認知症にならないため、効果が高いと始められたそうです。

今回受講者は５０数名でしたが、スマホは持っているが SNS は初めての方が約半数で、ほとんどが初心者といっていい状況でした。

「100 年ずっ友下関交流グループ」をフェイスブックにグループとして登録し、指導員の皆さんに手伝ってもらいながら手順に沿って投稿したり、お互いがやり取りしながら使い方を教わっていきました。音声で投稿することもでき、便利なものであると思いましたが、最初の設定をきちんとしないと、個人の情報が制限なく漏れてしまうこともわかりました。

フェイスブックは写真も添付できますが、記録写真ではなく、共感写真で、「自分の思いを写真にする気持ちが大切で、写真はとても大事です」とのことでした。

今は４G ですが、すぐに５G が始まり、今より比べ物にならないくらい、高速で大量の情報を知ることができるのも間近のようです。

お知らせ

１０月１２日（土）１７:００～２１:００、
妙栄寺にて観月会を行います。
※雨天中止です。

竹灯籠と蛍籠が皆様をお迎えします。
八幡太鼓、コーラス、ハーモニカ、リコーダー、しの笛演奏、お接待、ミニ縁日などもあります。

詳しくは自治会の回覧をご覧ください。

花いっぱい運動

今年も西市高校から花苗を分けてもらい、各地区の花壇に植えました。

これから各地区に持ち帰り、配ります。

ネットワーク豊田下

ネットワーク豊田町・西市

ネットワーク豊田中

招魂場整備

お盆のお墓参りに向けて、遺族会を手伝い招魂場の整備をしました。

豊田中招魂場

豊田下招魂場

作業を終えて

殿居招魂場

西市招魂場

サイクルタウンとよた

「サイクル県やまぐち」プロジェクト

「サイクル県やまぐち」は、**「誰もが」「県内各地で」「四季を通じて」**サイクルスポーツを**「快適に」**楽しめる県を目指す、県の進めるプロジェクトです。
このプロジェクトでは、来県者が快適に県内を周遊していただくため、サイクルエイド、サイクルステーション、サイクルツアー指向型宿泊施設の整備を進めています。

我が豊田町に於いても、より多くの来町者に来ていただくことを目的に、当プロジェクトに賛同するとともに、**「サイクルタウンとよた」**を豊田地区まちづくり協議会を中心としたチームで進めてきました。
これまで、先進地各地の研修などを行い当地での、このプロジェクトの進め方などを検討し、提案書を山口県へ提出していたところ、この度各所に認定をいただくこととなりましたのでご報告いたします。
なお、各施設の認定後は、山口県サイクルマップに掲載されます。

サイクルエイドとは

休憩所、飲料の販売など水分の提供が可能で、なおかつトイレの利用ができる施設。（現在県内 163 ヶ所）
豊田町内では、**一の俣温泉グランドホテル、妙伝寺**（浮石）**、ラーメンストア、セブンイレブン、豊田湖畔公園**の 5 ヶ所が認定済みです。

配給されたスポーツサイクル

サイクルステーションとは

サイクルエイドにレンタサイクル設備が加わった施設。
（現在県内 14 ヶ所）
豊田町内では、**道の駅蛍街道西ノ市、みのりの丘**の 2 ヶ所が認定済みで、来町者の皆さんに休憩所として利用いただける他、レンタサイクルを常備しています。
この度、県から両施設合わせて5台のスポーツサイクルの配給を受けました。

サイクルツアー指向型モデル宿泊施設とは

サイクルエイドに宿泊設備が加わった施設。（現在県内 10 ヶ所）
豊田町内では、**豊田湖畔公園**が認定済みで、来町者の皆さんに休憩宿泊に利用していただける他、周辺サイクリングの発着点として利用が可能です。主にサイクル合宿や宿泊を含むサイクルツアーのベース地としての利用が期待できます。
特に自転車の室内保管が可能なことは、サイクリストにとって大きな魅力です。

以上の施設を利用し豊田町をサイクリングのハブ（中心地）として近隣の観光スポットをつないで、サイクリングの楽しさを多くの方に体験してもらえるサイクルタウンになれば良いと思っています。（記：山本忠行）